

# 日頃の備え

台風や大雨などによる被害を最小限にとどめるために、日頃から家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な風水害対策を講じておきましょう。

**外壁**  
●モルタルの壁に亀裂はありませんか

**屋根・雨どい**  
●不安定なアンテナなどはありませんか  
●トタンなどがめくけていませんか  
●瓦のひび・割れ・はがれなどはありませんか  
●雨どいにごみや木の葉は溜まっていませんか

**ベランダ**  
●植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか

**窓**  
●窓枠のがたつきはありませんか  
●雨戸のがたつきはありませんか

**排水溝**  
●側溝や雨水ますにごみや土砂はありませんか

**その他**  
●ガスボンベは固定していますか  
●商店などでは看板のぐらつきはありませんか  
●ごみ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定していますか  
●庭木には添え木をしていますか  
●窓ガラスが飛散しないような対策をしていますか

## 災害時、トイレが使えなくなったら…

地震により断水でトイレが使えなくなることが想定されます。最低でも3日分(家族の人数×1日のトイレ回数×3日分)の携帯トイレ、簡易トイレの備えをしておきましょう。

**携帯トイレ**  
備蓄されていれば、すぐに使用が可能

- 排便時用収納袋
- 廃棄用収納袋(防臭)
- ティッシュ
- 吸水ポリマー(凝固剤)

**簡易トイレ**  
概ね1袋につき数十回使用可能。保管袋、脱臭剤のセットになっていて1セット1000回程度使用可能なものもある。

※凝固剤を使って水分をなくせば、トイレゴミを燃えるごみとして出すことができます。

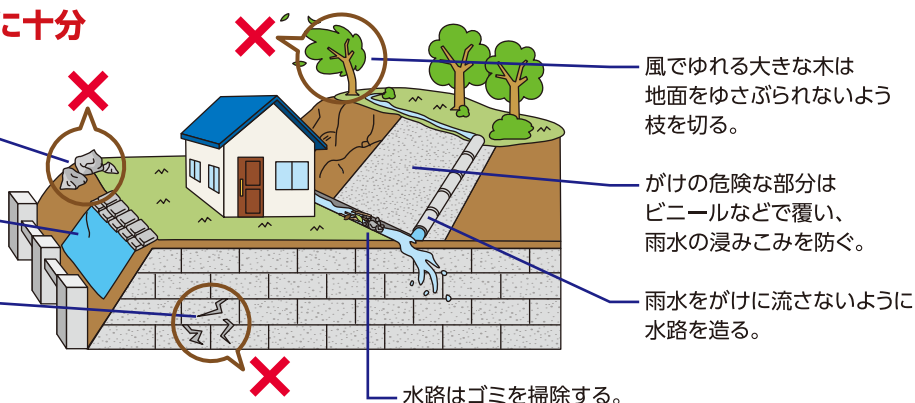
## 家の周りの備え

### 斜面の状態の変化に十分注意しましょう。

落ちそうな岩や土のかたまりは撤去する。

崩れそうな所は木や板の柵、石積をする。

こわれた石垣などは修理や補強を。



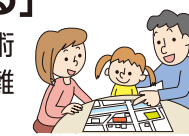
# 自助・共助・公助

## 自助・共助・公助

災害に対する予防・応急対応、復旧・復興には、市民の皆様と行政機関等がそれぞれ役割を果たし、協力・連携して対策に当たることが大切です。特に被害を最小限に抑えるためには「自助・共助・公助」の効果的な組み合わせが重要です。

### 自助 「自分の身は自分で守る」

飲料水・食料等の備蓄、防災知識・技術の習得、危険回避のための自主避難など、普段からの災害に対する準備。

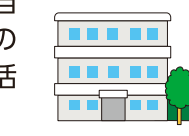


### 共助 「互いに助け合い、被害を減らす」

自主防災組織の結成、活動の促進、訓練への参加、相互協力体制の推進。



### 公助 行政機関等(市、県、国、消防、警察、自衛隊など)の活動。各機関とも災害の発生からできるだけ早く応急対策活動にあたるよう備えています。



## 自主防災組織の協力

### 自主防災組織とは

地域住民が連携し自主的に防災活動を行う組織のことをいいます。

### 平常時の活動

- 1 防災知識の普及啓発
- 2 防災訓練や地域の防災安全点検の実施
- 3 防災資機材の備蓄

### 災害時の活動

- 1 地域住民への避難の呼びかけ・誘導
- 2 負傷者の救出・救護
- 3 初期消火活動
- 4 避難所の運営

特に大地震のような大規模な災害時は、交通網の寸断、通信手段の混乱、同時多発の火災などで、消防や警察なども、同時にすべての現場に向かうことはできません。そのような事態に備え、地域住民が連携して地域の被害を最小限に抑えることが自主防災組織の役割です。

あなたとあなたの町を守るために自主防災活動へ積極的に参加し、「災害に強いまち御所市」を作りあげましょう。



## 自主防災